

シラバス記入用紙

大学院名: 東京学芸大学大学院

■科目番号と項目番号

研究科名: 教育学研究科

別紙「科目番号と項目番号」を参照し、下表の科目番号項目番号欄に記入してください。

担当者名: 大野精一

記入例 1-(1)、実1-(1)

科目名: 教育相談演習 I

No.	授業スケジュール	主な内容	科目番号 項目番号	(認定委員会記入欄)
1	教育相談と生徒指導、キャリア教育	三者の構造・連関を明確にする	8-(3)	
2	生徒指導とは何か—教育相談との関連で	教育相談との関連で生徒指導の定義・内容等を明確にする	8-(1)	
3	生徒指導の体制と諸問題—事例から考える	不登校やいじめ等の事例を通して生徒指導の体制や、そこで生じる諸問題を考察する	8-(2)	
4	キャリア教育の意義と内容—教育相談との関連で	教育相談との関連でキャリア教育の意義と内容を明確にする	8-(4)	
5	キャリア教育の意義と内容—キャリア概念の展開	キャリア概念の理論的・実践的な展開からキャリア教育の意義と内容を明確にする	8-(4)	
6	キャリア教育の意義と内容—代表的な研究者の業績と事例研究への応用	代表的なキャリア研究者の業績と、その事例への応用によりキャリア教育の意義と内容を明確にする	8-(4)	
7	キャリア教育の具体的な展開—キャリア発達プログラムの検討	代表的なキャリア発達プログラムの検討を通してキャリア教育の具体的な展開を考察する	8-(5)	
8	学校教育相談と臨床心理学—その異同	学校教育相談と臨床心理学との異同を明確にする	8-(3)	
9	学校教育相談と臨床心理学—学校教育相談の意義と特質を考える	学校教育相談と臨床心理学との異同を通して学校教育相談の意義と特質を考察する	8-(3)	
10	学校教育相談と学校心理学—その異同	学校教育相談と学校心理学との異同を明確にする	8-(3)	
11	学校教育相談と学校心理学—学校教育相談の意義と特質を考える	学校教育相談と学校心理学との異同を通して学校教育相談の意義と特質を考察する	8-(3)	
12	学校教育相談とカウンセリング心理学—その異同	学校教育相談とカウンセリング心理学との異同を明確にする	8-(3)	
13	学校教育相談とカウンセリング心理学—学校教育相談の意義と特質を考える	学校教育相談とカウンセリング心理学との異同を通して学校教育相談の意義と特質を考察する	8-(3)	
14	学校教育相談の定義	学校教育相談の暫定的な定義を示すことで学校教育相談の全体的な体系を展望する	8-(3)	
15	全体のまとめ	全体のまとめを行う	8-(3)	

※ シラバスを添付してください。

H22年度大学院(修士課程)授業科目シラバス

科目名	教育相談演習 I (a)
担当教員	大野 精一
対象学年	1年
講義室	集団実験室
開講学期	前期
曜日・時限	金曜日・3時限
ねらいと目標	この授業は、日本における学校教育現場の教師(教諭・養護教諭)を中核とする教育相談実践(学校教育相談School Counseling Services by Teachers in Japan)を理論的・歴史的そして各国比較的に整理し、学校教育相談の体系を演習形式で明確にすることをねらいとする「教育相談演習」の前半である。ここでの目標は、(1)教育相談を広く生徒指導やキャリア教育等の教育活動と関連させ、そして(2)カウンセリング心理学や臨床心理学、学校心理学等との異同を検討することで、学校教育相談の特質(定義)を理解することを目標にしている。
内容	主として3つの内容につき、講義と必要な文献購読を中心に授業を進めるが、随時グループによる議論やロールプレイング、事例研究等を行う。1)生徒指導やキャリア教育に関する実践や研究、臨床心理学・学校心理学・カウンセリング心理学等の関連文献を輪番制で講読・報告し、その異同を中心に議論をする。2)学校教育相談の特質についてレポートや議論、補足的な講義を行い、学校教育相談の全体像を明確にする。3)各受講者がそれぞれに学校教育相談の特質を主体的に把握できるようにするため個別的な課題を設定・遂行しそれを発表する。
テキスト	大野精一 学校教育相談—理論化の試み ほんの森出版 1996; 大野精一 学校教育相談—具体化の試み ほんの森出版 1997
参考文献	その都度事前に指示し、その一部は著作権等法令を順守した上で、Web-site http://schoolcounseling.cocolog-nifty.com/ から入手できるように準備している。
成績評価方法	出席回数や課題・レポート、発表内容・受講態度などを中心として総合的に判断するが、「演習」であるので出席回数や積極的な受講態度も重要な評価対象とする。
授業スケジュール(展開計画)	(1)教育相談と生徒指導、キャリア教育 (2)生徒指導とは何か—教育相談との関連で (3)生徒指導の体制と諸問題—事例から考える (4)キャリア教育の意義と内容—教育相談との関連で (5)キャリア教育の意義と内容—キャリア概念の展開 (6)キャリア教育の意義と内容—代表的な研究者の業績と事例研究への応用 (7)キャリア教育の具体的な展開—キャリア発達プログラムの検討 (8)学校教育相談と臨床心理学—その異同 (9)学校教育相談と臨床心理学—学校教育相談の意義と特質を考える (10)学校教育相談と学校心理学—その異同 (11)学校教育相談と学校心理学—学校教育相談の意義と特質を考える (12)学校教育相談とカウンセリング心理学—その異同 (13)学校教育相談とカウンセリング心理学—学校教育相談の意義と特質を考える (14)学校教育相談の定義 (15)全体のまとめ
授業のキーワード	学校教育相談 生徒指導 キャリア教育 カウンセリング心理学
受講補足(履修制限等)	教育相談演習 II を合わせて受講することが望ましい
その他	この授業は、学会連合資格「学校心理士」認定運営機構が定めた『「学校心理士資格」取得のための大学院における関連科目(履修内容)の新基準』の「8. 生徒指導・教育相談、キャリア教育」も参照して、構成されている。